

浙江工商大学日本語言文化学院・二松学舎大学東アジア学術総合研究所
共同研究シンポジウム「19・20世紀東アジアの漢学（1900年前後を中心に）」

会場：浙江工商大学外国語楼 132 室

司会：江藤茂博、王宝平

13:30 ~ 14:00	劉岳兵	南開大学日本研究院 教授	船山史論と近代日本の知の再構築 — 王船山〈宋論〉の日本語訳本〈宋朝史論〉 を例として—
14:00 ~ 14:30	郭永恩	浙江万里学院日本語学科 教授	津田左右吉と長谷川如是閑の『老子』思想の研究
14:30 ~ 15:00	楊爽	周口師範学院 助教	明治時代の日本漢文学者依田学海と中国—人物交流を中心に—
15:00~15:20	休憩		
15:20 ~ 15:50	牧角悦子	二松学舎大学 教授	文と文学と文学史—近代における漢学の意義—
15:50~ 16:20	町泉寿郎	二松学舎大学 教授	1900年前後の漢学界の動向 —島田重礼を中心に—
16:20~ 16:50	共同討議	明治期日本の漢学と漢学者	

18:00~20:00 歓迎レセプション

場所：杭州歌江維嘉大酒店

司会：浙江工商大学日本語言文化学院副教授 吳玲、李美子